

授業科目名	公衆衛生看護学（学校保健）(2300255)		
時間割名	公衆衛生看護学（学校保健）(54204)		
時間割担当	新谷奈苗		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	金・4		

授業の目標・概要

学校教育および学校保健の目的を理解し、健康、安全を直接の目標とする保健教育と保健管理を実践するための基礎的知識を習得する。学校において留意すべき病気や健康障害を理解し、学校生活管理の基礎や対処法・救急処置を学ぶ。学校精神保健、障がい児教育など多側面から学校保健を理解し、学校教育の中での保健指導・健康相談活動とその法的根拠を学ぶ。

学習の到達目標

1. 学校保健安全法の目的・意義について説明できる。
2. 学校における健康管理、安全管理、健康教育等に関する養護教諭が果たす役割について理解する。
3. 学校保健安全法に関わる地域・社会資源の活用と効果について理解する。
4. 学校保健安全法の目的に沿う基礎的な知識と実践能力を修得する。

授業方法・形式

講義（一部演習）

授業計画

- 第1回 子どものからだの発育発達と健康生活
- 第2回 学校保健安全法の目的・意義
- 第3回 学校保健安全委員会組織と校内保健安全組織との連携
- 第4回 学校における健康診断の意義と児童生徒の健康管理
- 第5回 保健室経営における校内教職員の共通理解と協働活動
- 第6回 健康的な学校環境基準
- 第7回 学校における感染症・食中毒の予防
- 第8回 担任教師による健康観察と健康管理者としての役割
- 第9回 学校災害と安全教育、危機管理
- 第10回 保健室の役割と校内における養護教諭の位置付け
- 第11回 児童生徒の健康情報に関する校内の連携と守秘義務
- 第12回 慢性疾患をもつ児童生徒に対する日常の健康管理
- 第13回 健康習慣行動に関する健康教育
- 第14回 健康習慣行動に関する健康教育
- 第15回 課題発表とまとめ

成績評価の基準

定期試験 80% 演習課題 20%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

授業の前には、次回対応する箇所のテキストを読んでくること

履修上のアドバイス及び留意点

こどもの心と身体の成長発達について、復習をしておくこと

教材・教科書

教科書：公衆衛生看護学.jp 第4版 インターメディカル

参考書

副読本：新訂版 学校保健実務必携 第3次改訂版 学校保健・安全実務研究会編 第一法規株式会社